

9 Lesson 3 Cool Culture from Japan (2)

「～するつもり」と伝えよう

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 意志を伝えることができる

- 自分の意志を伝える

文法・表現 助動詞 will

自分の意志を伝える

まず、次の文を見てみましょう。

I play the game every night.

(私は毎晩、そのゲームをしています)

この文は、play という動詞の現在形を使って、「毎晩そのゲームをしている」という習慣的に繰り返す動作を表しています。つまり、現在を中心として、このゲームを夜にしました過去のある時から、今夜以降もしていくという未来にかけての繰り返す動作を表します。では、この文を次の文と比べてみましょう。

I will play the game tonight.

(私は今晚、そのゲームをします)

この文では、play の前に will という単語が入っています。will も前回学習した can と同じく助動詞で、直後に来る動詞に意味を付け加える役割をしています。

will は、話し手が話をしている時点で決めたことや、話している時点で思っている意志を表します。この文でも「今晚そのゲームをする」という、この発言をした時点での話し手 (I) の意志を表しています。「よし、今晚はそのゲームをするぞ!」というその場での決意や、「今晚はそのゲームをするつもり」という話をしている時点での意志表示です。その意志を持っているのは現在のことですが、ゲームをするのは「今晚」というこれからのことのため、will は未来のことを表すときに使います。

will は助動詞のため、主語が自分 (I) と相手 (you) 以外の単数で現在のことであっても、動詞は原形 (変化しないもとの形) のまま使われます。

では、次の文を見てみましょう。will の否定形が使われている文です。

I will not do such a thing again.

(私は、もう二度とそんなことはしません)

will not で「～しないという意志がある」、つまり「～しないつもり」「～するつもりはない」という意志を表します。なお、will not には won't という短縮形もあり、次のように言うこともできます。

I won't do such a thing again.

ただし、「～しない」という否定の意味を強調したいときには will not を使って、not を強く言うといいでしょう。

推量を伝える

will には、現時点での意志を表す以外にも、話している時点での話し手の推量を表す使い方もあります。次の2つの文で確認しましょう。

① It is cloudy today.

(きょうは曇っています)

② It will be rainy tomorrow.

(あしたは雨になる でしょう)

どちらも天気予報でよく聞く表現です。①の文は be 動詞の現在形 is を使って、現時点での「曇っている」という状態を伝えています。それに対して②の文では、話をしている時点であしたの天気を推量して述べています。推量しているのは現時点ですが、話の内容はあしたの天気について述べていて、「～になるでしょう」と未来のことを推量しているため、未来を表す表現として will が使われています。

ここでも、主語は It が使われていて、自分 (I) と相手 (you) 以外の単数形ですが、will の後の動詞は原形 (変化しないもの形) で使われるため、ここでも「be 動詞の変化しないもの形」である be になっています。

あの先生のこの話!



英語に未来形はない!

これまで学習してきたように、英語には現在形や過去形があります。例えば **play** の過去形は **played**、**go** の過去形は **went**、そして **eat** の過去形は **ate** と活用します。しかし、これらの英語の動詞には未来形という活用はありません。このため、未来のことを表すときには、**will** のような言葉を一緒に使うことで、未来の内容を表現することになります。次の文で確認しましょう。

I will eat ramen tonight.

(私は今夜、ラーメンを食べます)

この文は、この発言をしている時点での話し手(1)の「今夜はラーメンを食べる」という意志を表しています。決してこれから先に抱く意志ではありません。つまり現在の意志を表していることになり、「ラーメンを食べる」という行為が「今夜」という未来のことのため、未来を表す表現として使うことができるのです。

そして、この **will** は現在形ということも確認しておきましょう。**will** には **would** という過去形があることから、**will** は現在形であることがわかります。これは同じく助動詞の **can** が現在形で、過去形が **could** であることと同じ関係です。